

教育委員会「点検・評価」報告書  
(令和2年度事業対象)

柏原市教育委員会

令和3年12月

## 目 次

I 点検・評価制度の概要	1 ページ
II 点検・評価実施状況	2 ページ
III 事業シートに対しての評価員からの質問と各担当課からの回答	5 ページ
IV 個別ヒアリングの状況について	13 ページ
V 点検・評価に関する学識経験者からの意見・助言	20 ページ

## I 点検・評価制度の概要

### 1 経緯

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(以下「地教行法」という。)が改正され、地教行法の改正目的である「教育委員会の責任体制の明確化」の一つとして、同法第26条の規定に基づき、教育委員会が毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(以下「点検・評価」という。)を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、これを公表することが義務付けられた。また、点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとするものとされた。

本報告書は、地教行法に基づき、令和2年度(2020年度)の柏原市教育委員会の点検・評価を取りまとめたものである。

### 2 目的

教育委員会は、首長から独立した立場で地域の学校教育、社会教育等に関する事務を担当する行政機関として、すべての都道府県及び市町村等に設置されている行政委員会である。その役割は、専門的な行政官で構成される事務局を、様々な属性を持った複数の委員による合議により指揮監督(レイマン・コントロール)し、中立的な意思決定を行うものとされる。

事務の点検・評価は、地教行法第26条の規定に基づき、教育委員会が教育長以下事務局を含む広い意味での教育に関する事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすことを目的としている。

### 3 対象事業の考え方

今回の点検・評価の対象事業は、前年度である令和2年度分の事業実績と令和2年度の取組み計画・状況について実施した。その対象範囲は、地教行法第26条で「教育委員会の職務権限」として規定されている事務の範囲とするが、本市及び本市教育委員会により策定された柏原市教育振興基本計画に基づいて、教育委員会が行っている基本方針より重点事業を網羅する形で対象事業を選定した。

### 4 学識経験者の知見の活用

地教行法第26条第2項の規定による有識者の知見の活用については、教育委員会事務局が行った点検・評価(自己評価)の結果について、選任した学識経験者2名から意見を聴いた。

学識経験者の選定にあたっては、本市にゆかりのある方で、広い観点からの知見を期して、高等教育や教員の人材養成に携わっていた識見の高い方の知見の活用を考

慮した。

評価員名簿（敬称略）

○手取 義宏（大阪教育大学教授）

○松下 十三男（元柏原市立中学校教頭）

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

第26条（教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## II 点検・評価実施状況

### 1 評価員による点検・評価及び評価員会議開催状況

○令和3年11月4日（木）から令和3年11月17日（水）まで  
各課事務事業の点検・評価シート等による評価員の点検・評価

○令和3年12月1日（水）午後1時～午後3時  
第1回 柏原市教育委員会の事務の点検及び評価に関する評価員会議  
会議内容：課（館）ごとに個別ヒアリングを実施

○令和3年12月2日（木）から令和3年12月14日（火）まで  
評価シート及び個別ヒアリング等による評価員の点検・評価

○令和3年12月15日（水）午後1時～午後2時  
第2回 柏原市教育委員会の事務の点検及び評価に関する評価員会議  
会議内容：教育委員会「点検・評価」報告に関することについて

### 2 点検・評価実施手法

【事業シートの作成】

柏原市教育振興基本計画に掲げる基本的な目標の実現に対する4つの基本方針を基にした重点事業より、各課（館）で実施事業ごとにシートを作成。

○柏原市教育振興基本計画に掲げる4つの基本方針と重点事業

（基本方針1） 幼小中一貫教育を推進します

（1） 中学校区を単位とした家庭、地域、学校の連携強化

- ・ 教師間連携
- ・ 子どもの交流、連携
- ・ 家庭、地域、学校の連携

（2） 子どもの育成

- ・ 幼小中一貫教育推進教員の配置
- ・ 学習意欲や学力の向上
- ・ 生活指導上の課題の解決

（3） 幼小中一貫教育推進事業の展開

- ・ 中学校区の特色ある教育の推進
- ・ 施設一体型一貫校の計画の推進

（4） 地域連携型中高一貫校の推進

- ・ 連携授業、校内研修の実施

（基本方針2） 知・徳・体の調和のとれた子どもを育みます

（1） 幼児教育の推進

- ・ 幼児教育の推進

（2） 子どもたちの確かな学力の確立

- ・ 各学校を支えるプロジェクトチーム
- ・ 学習意欲や確かな学力の向上
- ・ 府教委や市教委の学力向上方策

（3） 豊かな心の育成

- ・ いじめ、不登校への対応
- ・ 人権教育の充実
- ・ 道徳教育の充実
- ・ キャリア教育の推進

（4） 健やかな体づくりの推進

- ・ 体力づくりの充実
- ・ 学校保健の充実
- ・ 学校給食の充実
- ・ 部活動の充実

（基本方針3） 社会全体で健やかな子どもを育みます

（1） 家庭の教育力の向上、学習習慣の定着

- ・ 教育に関する相談支援の充実
- ・ 家庭での学習習慣の定着

- (2) 地域の特性やボランティア等を活かした教育の充実
    - ・わがまち柏原を学ぶ教育活動の推進
    - ・地元大学と連携した学習機会の充実
    - ・学校支援ボランティアの充実
  - (3) 青少年の健全育成
    - ・青少年健全育成活動の推進
    - ・青少年育成団体支援の推進
    - ・青少年講座の充実
  - (4) スポーツの振興
    - ・生涯スポーツの振興
    - ・スポーツ環境の充実
  - (5) 生涯学習の充実
    - ・社会教育施設の整備、充実
    - ・社会教育施設を使用した生涯学習の推進
    - ・公民館の活用
    - ・図書館の活用
    - ・文化財の保存、整備、活用
    - ・文化財に関する知識普及と啓発の推進
- (基本方針4) 安全・安心で、質の高い教育環境をつくります
- (1) 教職員の資質の向上
    - ・教職員の研修の充実
    - ・ミドルリーダーの育成
  - (2) 安全、安心な教育環境の整備
    - ・子どもの安全の確保
    - ・安全、安心な施設環境の構築
    - ・学校の適正規模、適正配置の推進
    - ・GIGA スクール構想の実現
    - ・安全、安心な給食施設の維持、運営
  - (3) 教育機会の均等と確保
    - ・支援教育及び支援体制の充実
    - ・就学への支援
    - ・奨学金制度の充実

○シート項目について

1. 重点事業
2. 具体的事業名
3. 主な取組み状況・・・  
令和2年度の取組み状況（事業や取組みの実績・成果）

4. 自己評価（令和元年度の課題はどのように改善されたのか。また令和2年度の新たな課題と反省点）
5. 現状と課題（令和3年度の進捗状況。教育振興基本計画と進捗状況との差とその発生原因）
6. 今後の方向性（課題解決のための新たな方策。教育振興基本計画達成に向けた具体的なビジョン）

### Ⅲ 事業シートに対しての評価員からの質問と各担当課からの回答

#### 公民館

◎重点事業 社会教育施設を使用した生涯学習の推進

【実施事業 公民館活動事業】

#### ☆質問事項①

今後の方向性に「芸能発表」等の開催を日曜日の午前・午後に集中して開催とありますが、それは具体的にはどのような形で、どのような効果が見込めそうか教えてください。

#### ★回答①

文化連盟祭は市民文化センターにおいて、5月の土・日曜日に2週にわたり開催されます。市民文化祭については、市民文化センター、堅下合同会館、リビエールホールにおいて、10月の土・日曜に3週にわたり開催されます。芸能関係も含め、発表の場を土曜、日曜日に集中させ、出演する側も観覧する側も、参加しやすい日程に設定しております。このことにより、より多くの集客が見込め、また、子どもを含む多くの市民の皆様が柏原市の文化芸術に参加し、触れていただく機会を作ることができると思います。

#### ☆質問事項②

新型コロナウイルス感染症の完全な終息はなく、現在の様な状況が続くと仮定して、市民が安心して利用できる、具体的な感染症防止対策はどのようなことを実施していきますか。

#### ★回答②

公民館は、大阪府が令和3年9月30日をもって、緊急事態宣言を解除したことにより、現在通常どおり運営しております。運営にあたっては、全国公民館連合会が策定した「公民館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」をもとに、柏原市立公民館独自のマニュアルを作成しており、大阪府の指針と併せて勘案し、運営しております。具体的には、利用者には3密を避け、マスクの着用や、手指消毒、検温をお願いし、利用者名簿と遵守条件を記載したチェックシートを毎回利用後に提出いただいております。公民館側では、職員が講座開始前、終了後には換気、消毒を行っており、部屋の利用人数も定員を2分の1に制限しております。国や大阪府においては、様々に制限を緩和する動きがございますが、未だ新型コロナウイルス感染症の状況が見えない中で、柏原市立公民館としましては、利用者のご協力も得ながら引き続き現状の感染対策を行ってまい

ります。

## 図書館

### ☆質問事項①

学校司書が増員されたことで生まれた具体的な効果について教えてください。

### ★回答①

市立図書館が、支援事業として実施している団体貸出では、コロナ禍の中ですが貸出冊数が各学校で増加しております。また、司書により本の内容を簡潔に解説し、聞き手が読書の楽しみに気づき、読書意欲を起す目的のブックトーク事業では、緊急事態宣言等で中止する期間もありましたが、解除後は、各学校から多数の要望を頂いており、連携強化による児童の読書意欲の向上と読書活動の推進に寄与していると考えております。

### ☆質問事項②

今後の方向性として電子図書館の検討をあげておられることに関して、導入へのハードルは高いと思いますが、コロナ禍においてますますそのニーズは高まっていると思われれます。何か実現の可能性はありませんか。

### ★回答②

コロナ禍での臨時休館や、身体的や時間的に来館が困難な市民に対して、電子図書館は図書館サービスの有効なツールであると考えていますが、老朽化に伴う市民文化センターの今後のありかたについて市民ニーズを伺う機会もあり、その意見も反映させながらより良いものとなるよう検討していこうと考えています。また、現在のサービスとしては、SNSを活用し、無料で楽しめる電子図書館の案内等を実施し、利用をしていただいております。

## 文化財課

### ◎重点事業 文化財に関する知識普及と啓発の推進

#### 【実施事業 事業】

### ☆質問事項①

「竜田古道」と「葛城修験」の日本遺産認定に伴って現在取り組まれている事業について教えてください。

### ★回答①

竜田古道・亀の瀬をめぐるシンポジウムの開催、ボランティアガイド育成のための研修の実施、葛城修験リレー展示の実施、春季企画展で聖徳太子と龍田古道の関わりを紹介します。



☆質問事項②

今後の方向性として「さまざまな文化財の周知、普及、活用が求められる」とありますが、現在のその具体的なビジョンについて、もしあれば教えてください。

★回答②

継続して柏原の歴史をテーマにした展示や講演会・講座を開催するとともに、新たな調査成果などを盛り込んだ「柏原の歴史」シリーズ（全5巻を予定）を刊行します。また、オンライン配信による市内の遺跡や文化財を紹介し、より幅広い年代・地域に情報を発信していきます。

☆質問事項③

今後の方向性で「日本遺産の認定を契機に市の内外への情報発信を活発に行い」とありますが具体的にどのような情報発信を行いますか。

★回答③

にぎわい観光課や三郷町とも連携し、広報、ホームページ、オンライン配信、チラシ配布等により、展示や講演会・講座、日本遺産に関するイベントの開催などを発信していく予定です。

こども福祉部

◎重点事業 幼稚園教育の推進

【実施事業】

☆質問事項①

すべての幼児教育施設の保育者が参加する研修を、実践を踏まえた内容とした、ということですが、どのような研修内容であったか教えてください。

★回答①

コロナ禍で公開保育が出来なかった為、各園（民間園も含む）において保育中の写真を用いて共通のテーマで園内研修を実施し、その内容について各園から保育者が参加する全体研修会で共有しました。なお、全体研修会については、密集を避け、同じ内容を2部構成で実施しました。

☆質問事項②

今後の方向性として、「幼保公民の垣根を超えた研修・研究会の実施」とありますが、その実現可能性のあるビジョンについて、もしあれば教えてください。

★回答②

「幼保公民の垣根を超えた研修・研究会」につきましては、平成30年度に策定した「柏原市就学前教育・保育カリキュラム」を活用し、公立民間全ての就学前施設の代表が参加する研究会を令和元年度から既に実施しているところですが、現在、文科省において「架け橋プ

プログラム」の開発が進んでいる事を受け、今後は幼児教育から学校教育への「10の姿」を踏まえた接続の研修を中心に、柏原市の就学前施設として共通理解を図る取組みを進めていきたいと考えています。

☆質問事項③

自己評価で「幼稚園教諭と保育士の2対3の人事交流を実施し、幼保の連携を図ることができた」とありますが、人事や幼保の連携で困難を予想されたと思いますが順調に進んだのでしょうか。

★回答③

幼稚園教諭と保育士の人事交流につきましては、幼保再編による認定こども園化を見据え、平成29年度から開始し、令和2年度までの4年間で、4名の幼稚園教諭が保育所で、8名の保育士が幼稚園でそれぞれ勤務し、お互いの施設運営や保育内容等について理解を深めてきました。幼保交流者へのアンケート調査では「年度当初は戸惑いもあったが、新たな人間関係の構築もでき、大変意義深いものであった」という趣旨の感想が多くを占めており、幼保交流経験者の全てが、令和3年度から開園した認定こども園に配属されクラス担任を持ち、園運営の中心的役割を担っています。

## 社会教育課

◎重点事業 こどもの交流、連携

【実施事業 事業】

☆質問事項①

P T A活動については、全国的にさまざまな新しい形が模索されています。柏原市のP T Aの在り方について、何か参考にされているものはありますか。

★回答①

近年、ライフスタイルの激しい変化に対応するため、全国的に様々な改革が施行されています。本市では、概ね従来通りのP T A組織で活動を行って頂いていますが、一部の単位P T Aでは会長職を置かず、行事のあるごとに手の空いている保護者が代表して役割に当たる代表制を実施しています。

柏原市P T A協議会は、何か1つを参考に在り方を決定するのではなく、市内15校園の状況に応じて柔軟に対応できるよう、理事会で各校園の意見をすくい上げ、今後どのようにしていくべきか協議して今後の在り方を決定しています。

☆質問事項②

自己評価にある「イベントに代わる新たな単位こども会への活動支援の在り方」に関して、今後の方向性で述べられている「会議等で出された意見のうち、支援策として実施できるもの」や「こども会活動が魅力的に映る新たな事業」について、具体的なプランがあれば教えて下さい。

★回答②

こども会が実施する地域清掃事業について、各こども会へ軍手の配布を行っています。例年は日程を指定し、市内全域で同時に実施していました。それをこども会の活動の実情に合わせ、通年実施を可能にしました。また、こども会活動中におけるケガを補償するこども会共済会の保険料について、小学生分は今年度より市こども会育成連絡協議会で負担し、個人負担を無くしたことでより安心して活動出来るように支援を行いました。

☆質問事項③

今後の方向性で「従来型のフェスティバル以外の活動を実施していくことで」とありますが、コロナウイルス感染症が収束しても今後のフェスタ的な活動は縮小の予定なのでしょうか。

★回答③

間接的なふれあい活動については、コロナ対策として実施するもので、花いっぱい運動などは先行で実施した学校があり、実績があることから健全育成会として推奨したものの、コロナウイルスが収束もしくは有効なコロナウイルス対策が見込める場合はフェスタなど多くの人が集まり交流する行事も引き続き実施をお願いしていきたいと考えております。

## スポーツ推進課

☆質問事項①

令和3年度より導入された堅下北スポーツ広場の指定管理者制度の導入で、受付の利便性の他に何か改善されたことや、逆に課題になっていることがあれば教えてください。

★回答①

堅下北スポーツ広場は、令和3年度より指定管理者制度の導入を行い、土、日、祝日を含めて現地で利用申請が受付できるようになったことから利用者の利便性の向上を図ることができました。また、指定管理者の自主事業としてエンジョイ・グラウンドゴルフ等を開催することによりグラウンドの空き時間を有効に活用することができました。課題としては、導入初年度であったため、当初、市との調整が必要な事象について報告や連絡が遅れることがありましたが、その後協議し、現在では指定管理者より適切に報告、連絡していただいております。

☆質問事項②

今後の方向性で「引き続き高校グラウンドの長期借用を要望していく等の対応」とありますが、展望はどうようなものなのでしょうか。

★回答②

当該グラウンドの担当所管部署である大阪府教育庁施設財務課と協議を重ねておりますが、具体的な方向性を示していただける状況には至っておりません。引き続き粘り強く要望してまいります。

## 学務課

### ☆質問事項①

国分東小学校と国分小学校が統合されて、その後、子どもたちやPTAも含めて学校がどのような状況か教えてください。

### ★回答①

令和2年4月1日に、国分東小学校と国分小学校の学校統合を行いました。その後令和3年7月に国分小学校児童・保護者へアンケート調査を実施したところ、学校統合について、「友だちが増えた」等、肯定的なご意見が多数見られました。一方で、遠距離通学となり、登下校の安全が心配であるというご意見や、母校がなくなって寂しいというご意見もいただきました。

### ☆質問事項②

「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」が制定されて、現場でどのように活用されているか、何か対応事例を把握していれば教えてください。

### ★回答②

「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」は安心安全な学校給食の実施のために、アレルギー事案発生後の対応ではなく、事前の対応についてまとめたものです。年度初めに本マニュアルを資料として、全教職員で研修に取り組むなど、現場で活用しております。また、マニュアルに基づき、各学校において保護者と情報共有を行い安心して給食を食べることが出来る体制を構築します。

### ☆質問事項③

きらめき号の利用状況について教えてください。

### ★回答③

旧国分東小学校校区の国分東条町の一部地域で希望者を対象とした、登下校における循環バスの利用を行っています。令和2年度の利用状況は、6人です。内訳は2年生が2名、3・4・5・6年生が各1名です。

### ☆質問事項④

「連携型の一貫教育」についての各校区の現状と「施設一体型一貫校」の実施予定についてお願いします。

### ★回答④

各中学校区における「連携型の一貫教育」の現状につきましては、全ての中学校区において、施設分離型小中一貫教育に取り組んでいます。また、本年度、柏原市小・中学校適正規模・適正配置審議会を開催し、「施設一体型小中一貫校」の設置を含めてご審議いただいているところです。今後の予定につきましては、答申並びにパブリックコメントを受

けて、令和4年度に基本方針を示す予定です。

## 教育総務課

◎重点事業 安全、安心な施設環境の構築

【実施事業 事業他】

### ☆質問事項①

各学校のネットワーク環境、とくに Wi-Fi 環境について、現状と課題を具体的に教えて下さい。

### ★回答①

各学校のネットワーク環境については、1人1台端末の配備をしており、各教室及び体育館に無線のアクセスポイントを設置しております。校内のどの教室においても端末を利用した授業ができます。無線による通信については、概ね順調ですが、複数クラスが一斉に通信すると通信に不具合がでるケース等がございます。問題があればその都度保守業者と共に対応にあたり、原因究明と再発の防止に取り組み、安定した通信環境の保持に努めてまいります。

## 指導課

◎重点事業 各学校を支えるプロジェクトチーム

【実施事業 学力向上推進事業】

### ☆質問事項①

柏原市児童生徒会をオンラインにて開催されたとのことですが、その様子について教えてください。

### ★回答①

8月6日、例年リビエールホールにて実施している「児童生徒会サミット」を令和3年度はオンラインにて開催いたしました。市内15校の子どもたちが、それぞれの学校にしながら、各学校の「よりよい仲間づくりに向けた取組み」の発表を行い、第2部では中学校の生徒が「いじめをなくすために取り組むこと」についての議論を活発に交わしました。ICTを活用したプレゼンテーションでは、発表する子どもたちだけでなく、発表を聞いている子どもたちにも真剣な表情がございました。

### ☆質問事項②

GIGAスクール構想によるタブレット端末とネットワーク、などの環境整備が行われたそうですが、柏原市の現状と課題について概略的に教えて下さい。

### ★回答②

現在、教育委員会の指導の下、「分かる授業づくり」のためのICTの効果的な活用についての研究を進めており、児童生徒が授業において日常的に端末に触れる機会を設けることにより、ICTが特別なものでなく文房具のように当たり前になるものとして定

着しつつあります。ただ校内で、一斉に通信を伴う作業を行うと多くの学校で不具合を起こすこともあり、その原因究明と改善についてはこれからの課題であります。

☆質問事項③

現状と課題で「各学校にタブレット端末とネットワーク、Microsoft アカウントなどの環境を整えることができた」とありますが、各学校での活用状況と子どもたちの興味・関心度はどのようなものでしょうか。

★回答③

1人1台整備されたタブレット PC は、児童生徒が授業において日常的に端末に触れる機会を設けるようにしており、授業支援ソフトを活用して、各自のタブレット PC の画面を教室前方のスクリーンに映し出し、全員で共有するような授業もごく普通に行われるようになってきています。Microsoft アカウントについては、全員に割り振られているため、授業で作成した文書や作品を各々のクラウドに保存して、学校以外の場所からでも読み込み、編集もできるようになっております。児童生徒の興味関心も高く、操作に慣れるのも早く、ICTが特別なものでなく文房具のように当たり前になるものとして定着しつつあります。

以上の質疑応答を踏まえ、ヒアリングを実施した。ヒアリングの内容は次のとおりである。

#### IV 個別ヒアリングの状況について

第1回柏原市教育委員会の事務の点検及び評価に関する評価員会議において、個別に質疑応答形式によるヒアリングを実施した。ヒアリング内容は以下のとおりである。

[評価員の意見の各課の回答など]

##### <公民館>

###### 【質問】

公民館の機能として、「集い」や「人と人との関係を結ぶ」といったところを重点的に取り組んでおられると思いますが、世代を超えた人が集う場になればありがたいと思います。また新しい変異ウイルスが入ってきて、いつまで続くのかという不安の中でも市民の方が学べる、つながる場所になればいいなと思うのですが、オンラインやインターネット経由での利用希望はありませんか。

###### 【回答】

利用者の方は高齢者が多いこともあってか、休館中は「開けてほしい」という要望は多くいただきましたが、オンラインやインターネット活用のご要望はありませんでした。

###### 【質問】

そうすると緊急事態宣言中などは全く動きが取れない状態でしたか。

###### 【回答】

そうですね。他市を見ておりますと、講師の方の講座を録画して公開されているところもありますが、まずはこちらが作成した、例えば市民文化祭や文化連盟祭の動画などをいつでも見ていただけるように配信するというような所から始めていければと思っております。

###### 【質問】

高齢者向けのスマホ教室は行っておられますか。

###### 【回答】

高齢者に限定しておりませんが開催を予定しております。パソコン講座を開設しております、その講師の方に講師をしていただきます。

###### 【要望】

スマホの利用は若い方が非常に得意ですから、若い力の活用も検討いただけたらと思います。

###### 【要望】

感染症対策にしっかり取り組んでいただけていることを確認できました。今後まだどうなるか分かりませんが、引き続き対策いただきますようお願いいたします。

## <図書館>

### 【説明】

学校司書については9名に増員されまして、年に2回の会議があり、やはり顔が見えていないと連携できませんので。コロナ禍ではありますが団体貸出しの冊数であったり、ブックトークであったり学校の支援も司書で行かせていただいたり、コロナの状況を見ながら、緩和しながら連携が深まっている状況です。

### 【質問】

ブックトークというのは本の紹介ということでしょうか。

### 【回答】

そうです。本のストーリーを司書が紹介して、興味を持った児童が本を借りるという流れです。

### 【質問】

こども達が本に親しむような取組みに図書館として協力できること、例えば学校の先生は大量に図書を借りたりできるのでしょうか。

### 【回答】

学校にも図書カードを配布しているので可能ですし、熱心な先生がいらっしゃってオーダーがあれば、量にもよりますが、学校の担当司書さんを通じてお貸ししています。司書さんが9名となって、図書室の図書も整理され、ジャンルごとの冊数が把握できたり、司書がおすすめした本に児童が興味を持って人気になったりしていると伺っています。

### 【要望】

図書館さんはいつも意欲的に取り組まれていて尊敬しております。今後ともよろしくお願いします。

### 【質問】

I C Tを活用した電子図書館等についてですが、現在の進行状況をお聞かせください。

### 【回答】

コロナ禍での臨時休館、バリアフリーの推進、多様な読書環境の提供等の要因から公立図書館での導入が進んでいます。導入については、初期導入費、毎年のシステムの管理料と電子書籍のライセンス料の費用に見合った費用対効果があるか近隣市の導入済み市町村の状況把握や導入に向けての課内で予算確保も含め精査中であります。

## <文化財課>

### 【質問】

「柏原の歴史」シリーズですが、書籍を作成されるということですか。いつ完成ですか。

### 【回答】

そうです。発掘調査や古文書の調査を行っていく中で、新しい研究成果が出てきており、市史の再編纂の時期に来ておりますが、市史の編纂は人的にも費用的にも大がかりですので、それに変わるものとして、新しい成果を盛り込んだダイジェスト版として今年度から作成してまいります。第一巻は今年度中に完成予定です。



**【質問】**

一般に販売するのですか。大和川の付け替えの歴史も詳しく載せていただいていますか。

**【回答】**

学校等へは無料で配布し、一般へは資料館で販売もしてまいります。付け替えについては少し後の巻になろうかと思いますが、その時には新しい事実を含めて掲載できると思います。

**【質問】**

オンライン配信についてはいかがですか。

**【回答】**

ZOOMを使って配信していこうと思っております。文化財課としてはオンラインで見ていただくのも一つですが、やはり現地を見ていただきたい。ただ、こういう時期ですし、広く知っていただき、現地へ来ていただくきっかけとなればいいなど。一つの広報手段と考えています。

**【質問】**

いいですね。チャレンジされていますね。リアルタイムで行うのですか。

**【回答】**

資料館のインターネット環境が整いましたので。よく資料館にも出入りされているボランティアの方とオンラインで何かできないかという話になりまして。市内の老人介護施設で試験的に行いました。ようやく形になるかなど。新たな試みとして定着していけばいいかなと思います。テレビのようにリアルタイムです。テレビと違うのは見ている方からの要望にリアルタイムでやり取りできるということが今までとは違うところかと思えます。

**【要望】**

博物館等で資料をネットで見れるというのはありますが、現場から配信できるというのはすごい時代ですね。子ども達や歴史好きな方へのコンテンツとして常時配信したり、参加型のオンラインツアーも楽しいですよ。柏原は歴史の学べる凄く良い所ですよとアピールできたらいいですね。

**【要望】**

情報発信、ICTの活用をしていただいていることが良く解りました。引き続きよろしくお願いします。

## **<社会教育課>**

**【質問】**

どの組織も活動なり、役員さんの成り手の問題なり持続するのが大変ですよ。

**【回答】**

成り手の問題で、会長職を置かずに、必ず決まった方ではなくてその時動ける方が代表として来ていただくという単位はあります。例年同じ会長さんが続くということがあり

ます。1年か2年で交代するという不文律で運営されている所もありますが、役員の成り手がないという問題はどこもあります。

**【質問】**

私も子どもが小学生の時に6年間PTAの会長をさせていただきました。PTAの在り方というのを考えて、負担の軽減や何かみんなが楽しめるようにできないかという事を考えていました。そういう風にしないと一部の方の負担が大きくて、引き継がれていかないと。全国的にも色々取り組まれていますので、色々な事を紹介していただいて、上からの改革ではないですけど、ぜひ情報提供していただいて、お示しいただけたらと思います。それから子ども会ですけど、子どもも減っていますし、子ども会も縮小傾向で、このまま行くと持続が危ぶまれますね。

**【回答】**

平成13年ごろは53単位2千人の加入者がありましたが、令和2年で8単位209名となっております。去年今年のコロナ禍で休会などもありまして、急激に減っているのは事実です。なかなか今の状況で新たな事業を提案するのは難しい状態です。

今後は市の子ども会連合組織に加入されていない、地域で活動されている子ども会にも保険加入を広げていけばどうかという流れが全国の子ども会連合会の方針でして、そちらに紹介していくことを始めていきます。これがきっかけで柏原の子ども会の参加者も増えていけばと考えています。

**【要望】**

子ども会などの既存の組織を守っていくというやり方だけでは、時代と共に無くなっていくと思います。社会教育という分野で、市役所、市教委という立場で、この街の子ども達の学校外での育ちをどう支えていくのかという大胆なビジョンが必要だと思います。子ども会の人数をどう増やすという視点だけではなくて、根本的な視点の改革が必要だと思います。私も地元で地域の立場から社会教育を支える動きということでチャレンジをしているのですが、今までのやり方を踏襲するだけでは担い手がいなくなって、これまでの組織が消滅してしまいます。できること、できないことはあると思いますが、大胆なビジョンで取組みをいただければと思います。

**【要望】**

地域によってはフェスタを楽しみにしている人もおりまして、やっと落ち着いたと思ったらオミクロン株が出てきました。花いっぱい運動でもいいと思います。様子を見ながらになると思いますがよろしくお願いします。

**<こども施設課>**

**【質問】**

それぞれの園の写真を見せ合ったという研修だったのですか。どんな学びがあったのでしょうか。

**【回答】**

コロナ禍ということもありますが、コロナ禍で無くても小学校とは少し違っていて、公

開事業のような取組みは幼児教育の世界では一般的ではありません。また民間園と公立の園が行き来するという文化は醸成されていないこともありますので、写真であれば保育中の様子も読み取って理解を進めるということで、心が動いたような遊びであったり、大きい年齢であれば友達同士で協力し合っている様子であったりを持ち寄って、写真から理解していく視点を学ぶという研修をしました。

**【要望】**

幼児教育から学校教育への「10の姿」を踏まえた接続という事ですが、むしろ学校教育が幼児教育を活かすような文化をもってほしいなとも思います。伸び伸びと幼児教育で育まれたものが、学校教育の中で狭い箱に閉じ込められてしまうような所もありますから。接続ということが、幼児期の段階から決められた小さい箱に入ることを学ぶのではなく、伸び伸びと自己肯定感を伸ばしながら、今まで通り幼児教育の良さを大事にしていただければと思います。

**【要望】**

幼稚園と保育所の人事交流の件で心配しておりましたが、スムーズにしている事が確認できて安心しました。この調子でよろしくをお願いします。

## **<スポーツ推進課>**

**【質問】**

サービスとしては向上していることが良くわかりました。自主事業というのは指定管理者さんが主催で行われるわけですか。エンジョイ・グラウンドゴルフというのは大会ですか。

**【回答】**

そうです。大きなグラウンドですので、沢山集まっていたいて、広く使っていたいてということです。

**【質疑】**

グラウンドゴルフは高齢者向けかと思うのですが、若い人対象の自主事業はいかがですか。

**【回答】**

少年サッカーのイベント等考えていただいておりましたが、コロナ禍でなかなか行っただけませんでした。輪投げを行ったり、通常団体登録をいただかないと利用できないのですが、空いた枠で個人でも参加できるような取組みをされています。なるべく足を運んでいただいて、親しんでもらえるような取組みをさせていただいています。

**【要望】**

中学生、高校生のスポーツとなると、部活でどうしても勝利や、強くなるというベクトルが大きくなりがちですので、市の提供する場は、もっとスポーツに親しんだり、いろんな経験を積んだりできるような方向性のものがあつたらいいなと思います。管理者さんとも相談しながらぜひ機会を広げていただければと思います。

**【質問】**

グラウンドの事が気になりまして、粘り強く要望いただけるということで見通しとしてはいかがでしょうか。

**【回答】**

閉校後については、昨年度の今時分から協議させていただいて、市民に使っていただきたいというところ、特に球場の部分ですね。青谷運動場が休場しているという事もありましたので、代替ではないのですがなんとか確保できないものかと要望してまいりました。大阪府教育庁の施設財務課に働きかけ、閉校後についても柏原市さんに使っていただいて結構ですとおっしゃっていただきました。しかし、大阪府で今後どうされるか。施設の別目的の利用や、売却等いろいろな状況が考えられるわけです。府の教育長にもお話をさせていただきましたし、引き続きお借りできるよう要望して参ります。

**<学務課>**

**【質問】**

コロナ禍での学校統合となったわけですが、状況等詳しく教えていただけますか。

**【回答】**

4月に「初めまして」ではなくて、前年度から交流しており、事前に行事を一緒に行ったり、段階的に統合を進めてまいりました。その効果あってかスムーズに行われました。

**【質問】**

令和2年4月はどんな状況でしたでしょうか。

**【回答】**

コロナで休校となった最中でした。その中で学校に来れませんので、家庭訪問する。出席番号奇数の児童が登校する。半分のクラスが登校する。といった形で段階的に登校できるようになりました。そして6月頃に全員登校ということで、コロナで思っていた通りにできなかったというより「おかげ」と言うとおかしいかもしれませんが、スロースタートが切れたという状態でした。

**【質問】**

施設一体型の一貫校の進捗や予定はいかがでしょうか。

**【回答】**

平成28年に出しました基本方針には、柏原地区、国分地区で統廃合のうえ施設一体型を設置する方針を出しているところですが、学級数も40人学級から35人学級に段階的に変わってきていることも受けて、現在適正規模適正配置審議会にてご審議いただいているところです。審議内容はまだ答申いただけていませんので内容についてこの場でお答えできませんが。答申を受けて令和4年度に方針をお示ししたいと思います。

**<教育総務課>**

**【質問】**

コロナで休業の時は自宅で学習はできましたか。これからまたそういう事もあるかもしれませんので。

**【回答】**

学習教材に自分でアクセスして、課題に答え、その回答を集計するというところまでは指導課でテスト済みですので対応可能です。先生とリアルタイムで授業を行うというのはもう一つ次のステップかと思います。

**【要望】**

担任の先生が授業を提供するというのは、オンラインでもオンデマンドでも子ども達にはいいかもしれませんが、何かを説明するだけ、理解させるだけであれば担任の先生である必要はないと思うんですね。学校の先生一人ひとりが教材を作って、時間を使って配信を考えるのではなくて、部分的な説明であれば色々なタイプの先生があって、それを子どもが選んで視聴できるような仕組みが大阪府とか大きい括りでできればいいですね。市レベルでも可能かもしれないですけども。これからまたコロナで休業ということもあるかもしれませんので、可能になればいいなと思います。

**【要望】**

広報かしわらでICTの特集がされましたね。他校にも刺激になると思います。今後も積極的に広報に取り上げてもらうといいと思います。積極的に活用いただいているようで良かったです。

**<指導課>****【質問】**

学校が分散登校やいろいろな制限で、子ども達へのしわ寄せやストレスというのは上がっていませんか。

**【回答】**

校長からもかわいそうな思いをさせている、不自由をさせているという声も多くいただきました。今のように少し落ち着いた時に提案があった時には、どういう活動をされるか確認して、どういう部分に気を付けるかお伝えしたうえで、できるだけ実施していただくような形を取りました。

**【質問】**

そういった事は一つ一つ確認をされるわけですか。

**【回答】**

全てではないですが。緊急事態宣言中はためらわれたような活動、例えば調理実習などを落ち着いたこのタイミングで対策をお示しして行っていただくよう指示しました。

**【質問】**

若い先生、新任の先生方はどのようなご様子ですか。

**【回答】**

若手の育成は喫緊の課題だと考えています。学校の中でもOJTはもちろんですが。若い先生が参加しやすいように間口を広げた研修を行っております。

**【質問】**

若い先生、新任の先生で既に躓いている方などおられませんか。

【回答】

指導課として指導内容に問題がある方は把握しておりません。むしろ初任者研修担当からは皆優秀だと聞いております。

【要望】

教員の倍率の低下でその質を確保していくこと、新人の先生支えていく事というのも大事な仕事かと思えます。あちこちで学校になじめなかったり、卒業生でも早々とリタイアしたという声を聞いておりますので、学校もそうですし、市としても支えていただければと思います。

【要望】

文房具のように扱っていただいているということで安心しました。広報のICT特集も拝見しました。各校の刺激になると思います。ICTに精通した先生が各校におられると思います。学務課と連携して各校にそういった先生を配置できるような人事ができたらいいなと思います。今後も引き続きよろしくをお願いします。

## V 点検・評価に関する学識経験者からの意見・助言

(1) 手取 義宏 氏 (大阪教育大学教授)

未だ私達が経験したことのない新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、いずれの教育委員会においても子どもと市民の命を守りつつ、学校や社会での学びの場を継続させていくという困難な課題に直面しています。柏原市教育委員会においても今回の点検・評価を通してその取り組みの一端を見せていただきました。

人々が集って交流するというこれまでの学びの基本的な前提を封じ込められて、身動きがとれなくなったセクションも多いなか、インターネットなどを活用して新しい学びの場を提供する試みを始められたことは特筆に値します。

文化財課ではインターネットを通じたバーチャルな遺跡見学を企画されていたり、公民館では市民文化祭などの動画をネット配信する企画を進められているという話を伺いました。また図書館におかれても電子図書の導入を前向きに検討されており、いかにコストを抑えつつ市民の利便性を高めていくかに腐心されています。

一方、小中学校においては、GIGA スクール構想の前倒しによって、一人一台のタブレットが導入される運びになりましたが、柏原市においては極めてスムーズにタブレットが児童生徒の手に渡り、日々の授業において活用が進められています。子どもたちの学びの道具として定着していくにはまだ時間がかかるかもしれませんが、まずはそのスタートを無事に切られたことで安心いたしました。

もう一つ私達が向き合っている現実として、人口減少社会、少子化社会を迎えていることが挙げられます。このことは学校教育にはもちろん、社会教育の分野にも大きな影響を与えており、これまでの既存の組織が機能しづらくなっていく中で、社会全体で子どもを育む力をどのように保持し発展させていくかという難しい課題を突きつけています。多様なセクターの力を合わせてこの問題に取り組んでいくために、柏原市教育委員会には

その先導的な役割を果たしていただくことを期待しております。

(2) 松下 十三男 氏 (元柏原市立中学校教頭)

点検・評価に関わらせていただきまして2年目になりました。私どもの意見を各課とも熱心に受け止めていただいたこと、また今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止に全力あげて取り組み、予定の変更や予防対策など大変な労力と不安の中、目標達成に向けて努力されていることに敬意を表したいと思います。

先日ヒアリングをさせていただきまして、各課事業の取り組みが滞りなく進むよう運営されていることを理解いたしました。公民館は「公民館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」をもとに柏原市独自のマニュアル作成をしておられ、利用者には3密を避け、マスク着用、手指消毒、検温、講座開始終了前後の消毒・換気、半分人数制限など状況が見えない中、引き続き現状の感染対策を行っていくとのことで安心感を得ました。

図書館も感染拡大防止を中心に考え、ICT活用電子図書館の検討に入っていることを知りました。導入済みの近隣市のメリット・デメリット・予算などを参考にされているとのこと。文化財課はにぎわい観光課や三郷町と連携し市内外への情報発信、視聴型オンラインツアー、ビジュアルストーリーガイド in 柏原など素晴らしい発想で活動していることに感動しました。

社会教育課は新型コロナウイルス感染拡大が続き、活動が制限されている中で花いっぱい運動を先行実施した学校があり、広がりを見せている。また感染が縮小し落ち着いたらフェスタなどの行事も考えているとの報告を受けました。

こども施設課は幼稚園教諭と保育士との交流を4年間かけて行い「こども園」の順調なスタートが出来、交流の成果も大きかったことの報告を受け安堵しました。スポーツ推進課はグラウンドの確保で旧柏原東高校グラウンドの長期借用で大変な苦勞をされていることを知りました。学務課は国分東小学校と国分小学校の学校統合で肯定的な意見が多く見られたこと、施設分離型小中一貫教育の各中学校区の取り組みの報告を受けました。

教育総務課はICT教育関連機器に関する各学校からの質問等が多く苦勞されたということ、しかしそのことが子どもたちの関心の高さや彼らの多くに使用されている証拠でもあるということでもあり、とても素晴らしいことだと感じました。指導課はICT教育について、児童生徒の関心が高く、操作に慣れるのも早く、ICTを特別なものとしてではなく文房具のように扱うことが定着しつつあるとのこと、大変安心しました。

全体を通して各課とも柏原の教育推進に向けて、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を考えながら多くのこと、新しいことなどを進められたことに感謝しつつ柏原市教育のますますの発展を願っております。